

# 『もうあかんわ日記』

## 悲劇は喜劇にかえられる

～ 話題の作家 岸田奈美が語る～

# 開催報告

今回は、日本テレビ系「スッキリ」や東京パラリンピックのコメントーターとしてもご活躍の作家・岸田奈美さんにお越しいただき、ご講演いただきました。

コロナ禍において、女性を取り巻く環境はますます過酷となっており、先行きの見えない現状に不安を抱えている人が多い状況です。

岸田さんご自身の体験やそこから得た気づきを聞くことで、「とても前向きな気持ちになった」など参加者の方からお声をいただくことができました。今回の講演会が、様々なことで悩み、苦境にいる女性をエンパワーメントし、女性が元気にいきいきと輝き、活躍できる社会の実現に向けての意識醸成の一助になることを願っています。

■日時  
2022年3月5日（土）13：30～15：45

■場所  
アスパア明石北館9階子午線ホール  
\*YouTube Liveで同時配信

■参加者  
会場 106名  
オンライン 78名



司会 あかし女性応援ねっと  
事務局長 柏木 登起

### ■開会のあいさつ（抜粋）



あかし女性応援ねっと  
代表 崎野 圭子

主催のあかし女性応援ねっとは、2016年の2月にこの子午線ホールで発足式をいたしまして6年目を迎えております。女性も、そして男性もいきいきと過ごせる社会の実現を目指し、今後も活動してまいります。

本日の参加の皆様は、子育て中、介護中、コロナ禍で色々と苦勞されている方等々、様々な状況に身を置かれていることと存じます。人生での困難な状況をちょっと視点を変えることによって、楽しむ、笑い飛ばして喜劇にかえる、そんな発想の転換方法などを本日皆様と学ぶことができれば幸いです。講演をきっかけに皆様が一層の輝きを増していけますよう心から祈念申し上げます。

### ■講演会

noteや各種メディアでご活躍の岸田さんに、ご自身の経験やそこから得た気づきをお話いただきました。

SNSでかけられる心ないコメント。そういった状況の中で、母のひろ実さんから「相手が何を言っているかではなく、何で言っているかに耳を傾けて」と声をかけられたそうです。「想像もつかない悲しみや怒りがそこにあるのでは、と思いをはせることが大切」と話されていました。

もっと岸田さんのことを知りたい方は、ぜひ著書やnoteをご覧ください。

作家 岸田 奈美さん



## ■ 質疑応答



「自分が辛いときの心の休め方、自分時間の取り方を教えてほしいです」

「岸田さんの日常は、考えないといけないことも常にあったり突然ふりかかったりしているのに、頭の中はどうやって整理されているのかなあと思いつながり、いつもツイッターを楽しませてもらっています。」など、事前に参加者のみなさまからいただいたご質問を岸田さんにお聞きしました。

ユーモアを交えながらも質問された方に寄り添う回答をされていました。

たくさんのご質問ありがとうございました。

## ■ ライツ社紹介

『もうあかんわ日記』を出版されたライツ社・高野社長にもお越しいただきました。ライツ社は明石市にある出版社です！

『もうあかんわ日記』を出版・販売するまでの裏話などもお話いただきました。



株式会社ライツ社  
代表取締役  
高野 翔さん

←ライツ社さんで出版されている書籍です。



## ■ 閉会のあいさつ（抜粋）

本当に心に沁みるような講演会だったなという風に思っております。

神様は試練を耐える人にしか与えない。ですから岸田先生はその試練をクリアされて、その次はみなさまに感動を与えていらっしゃるという、この二つ、素晴らしいと思います。

参加者のみなさまの気持ちを代弁し、心からお礼を申し上げまして閉会の言葉とさせていただきます。



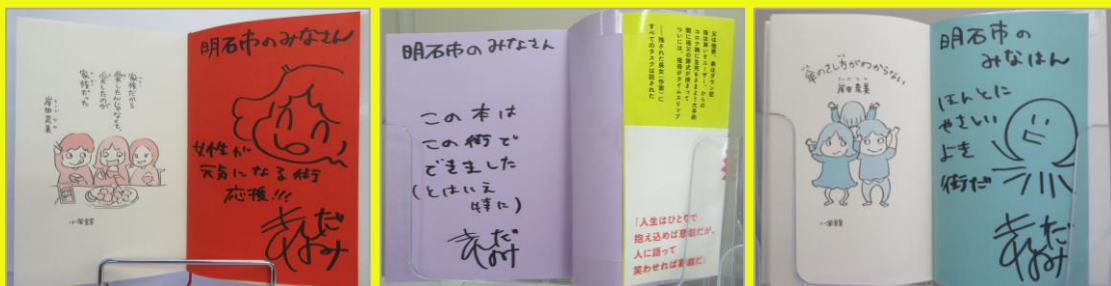
あかし女性応援ねっと  
副代表 小河 作江

## ■ サイン会（希望者のみ）

講演会終了後、岸田さんの書籍3冊の販売とサイン会を行いました。

わたしたちもサインをいただきました！

事務局（明石市男女共同参画課）で保管しています



運営にご協力  
いただいたみなさま

NPO法人フルーツバスケットさま  
食力レッジ・あかしさま  
ご協力ありがとうございました